



新春座談会 地域で子どもを育てる



写真左から、松本健治さん、田中健一さん、高畑博市長、細木多恵子さん、溝口幸治さん

学校運営協議会の活動

田中 西原小学校の学校運営協議会会長とPTA会長を

しています。学校運営協議会では、委員一人一人が思い描くこれからの児童像・学校像・地域

市長 明けましておめでとうございます。今回の新春座談会のテーマは「地域で子どもを育てる」です。市では、平成29年度から学校・保護者・地域の皆さんをパートナーとして、共に子どもを育て、地域コミュニティを育む「地域協働学校」を推進しています。本年度からは、市内全ての小学校と大井西中学校で実施しています。本日は、学校運営協議会の委員としてさまざまな場面で学校と関わり、活動いただいている皆さんのお話を伺えればと思います。

像に加え、教師像や保護者像について話し合っています。また、大井西中学校区（三角小・西原小・大井西中）合同で、地域防犯会議などの会議を実施しています。西原小学校だけでは、分らなかったことが共有できるようになりました。今後は、学区内にある文京学院大学や付属幼稚園とも連携したいと考えています。

松本 大井西中学校の学校運営協議会会長を務めています。学校運営協議会は、ことしか

ら始まったこともあり、戸惑いながらも日々感じたことを会議で話し合っています。体育祭では先生や地域の皆さんと一緒にリレーに参加し、ふれあい西中祭では、もちつきやポッチャ体験などを行いました。できるだけ不登校をなくしてい

細木 福岡小学校の学校応援団として、校内の花壇を四季に合わせて整えたり、学習課題に合わせた植物の生育をサポートしたりしています。学校運営協議会では、学校近くにある上福岡歴史民俗資料館や自治組織などの地域とのつながりをどう持つか、会議のベースになっています。

溝口 上野台小学校の学校運営協議会委員とおやじの会の代表をしています。地域協働学校が始まったからといって特段変わることはなく、多くの人がさまざまな活動をしています。どうしても年度ごとに成果を求める気持ちになっ

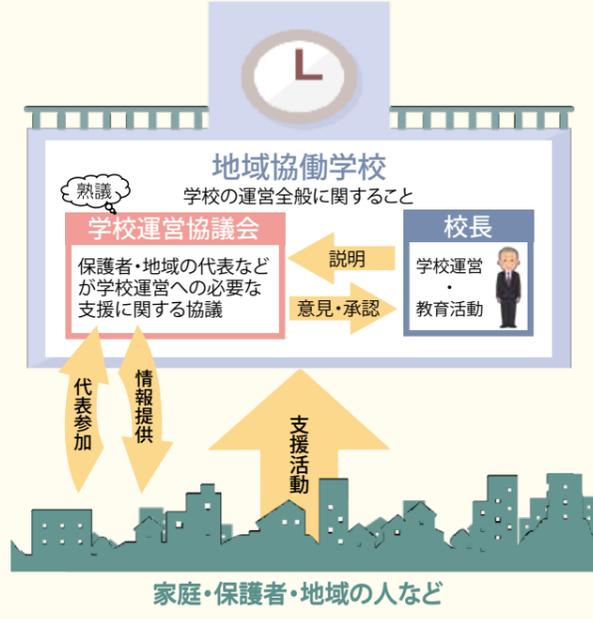
てしましますが、形を整えることよりも、想いを込めたものを子どもたちにぶつけて、育てていきたいと考えています。私もご招待いただき、子どもたちと地域の皆さんと一緒に餅つきをしているのを見ま



ふれあい西中祭の餅つきの様子

地域協働学校の仕組み

地域協働学校とは、保護者や地域の代表などが委員となる学校運営協議会を導入した学校です。「あたたかな絆を育む共育」を目指して、学校や地域の目標・ビジョンを共有し、学校と家庭・保護者・地域の皆さんが同じ方向を向いて、一体となって学校づくりを進めていきます。



毎年恒例の新春座談会も、ことしで9回目を迎えました。今回のテーマは「地域で子どもを育てる」です。本年度から地域協働学校が市内全小学校と大井西中学校で実施され、各学校に学校運営協議会が設置されました。今回は、学校運営協議会委員の皆さんにお越しいただきました。



田中 健一さん
西原小学校運営協議会
会長、PTA会長

市長 ふれあい西中祭には、

た。地域の皆さんの貴重な経験や体験、技術などに触れることは、子どもたちにとって良い経験です。また、地域協働学校が始まったから何かをするということではなく、学校を核としてみんなで話し合い、学校を作り上げていくものだと考えています。今まで関わる機会がなかった人と触れ合うのは、教育的な面で非常に大切なことです。また、地域や保護者、学校が一体となることで、見守る人が増えたり、交通面で気を付けるべき情報などを知ったり、子どもたちの安全にもつながります。



子どもたちの笑顔は、なによりの宝物。

あったかい ふじみ野市で

おもいやりあふれる大人に育ってほしいと思います。

高畑 博 市長

やりがいや楽しさ

田中 教職員や保護者を中心に集まって合唱した音楽会では、人が集まるかどうか不安でしたが、50人以上が集まり、楽しく実施できました。学校運営協議会は地域も含んで活動するので、地域のことがよく分かります。まだ始まったばかりですが、子どもたちがあいさつしてくれ、時には名前を呼ばれるので子どもたちとの距離が縮まったことを実感します。地域の皆さんも学校に行く回数が増えれば、学校の敷居が低くなり「学校に行く」と思える場所になるのではと思います。

細木 学校は入りづらいところで、保護者でも参観日ではないと行く機会がないのが現状です。



松本 健治さん
大井西中学校運営協議会
会長、スポーツ推進委員

田中 約20年ほど学校と関わっていますが、生徒たちの会話の中から学ぶこともあり、流行っていることや学校での様子を聞くことができます。何よりも先生や生徒との距離が縮まることで普段の生活で気軽に声をかけてくれるのはうれし

溝口 子どもたちが真剣に行事に取り組んでいる姿を見ると、感動します。そのたびに成長しているのを身近に感じることで、私たちが真剣に取り組まないといけないと思っています。私もたくさんの子供を学ばせていただいています。

市長 子どもたちの笑顔と懸命な姿は、素晴らしいです。私も学校訪問で子どもたちの表情を見ますが、元気に楽しそうにしている様子から、元気をもらいます。子どもたちは、大人が汗を流している姿をしっかりと見ています。未来を担う子どもたちのために、何ができるかを一人一人が考え、行動していくことがふじみ野市の未来にもつながるのではないのでしょうか。



細木 多恵子さん
福岡小学校運営協議会
委員、学校応援団

これから必要なこと

田中 目標に向かって、児童・学校・保護者・地域が同じ方向へ進むことが必要だと思います。地域協働学校は、学校を核として地域と一緒に子どもを育てるものです。もっともみんなの意識を高めていく努力や工夫をすることで、好循環が生まれると思います。大人の真剣な姿を見せて、子どもたちの人間性を育てていきたいです。

細木 学校・保護者・地域・子どもたちが相互に理解し合うには、近い距離感が大切だと思いますので、より密な関係になっていくような接点を増やしたいと思っています。毎年、ハロウィンに花壇を飾りつけています。ことは、本物と偽物のカボチャを置いて「本物のカボ

チャは何個か？」というクイズを作りました。植栽をするだけより子どもたちも楽しそうに、こちらから子どもたちに踏み込んでいくことが大切だと思いました。

松本 積極的にお互い接していくことが必要だと思います。学校だけを核とするのではなく、地域の行事に生徒や先生も参加してもらい、学校を地域の一員にしていきたいです。参加することで、コミュニケーションをとりやすくなると思います。学校からも地域からも近づいていき、双方が提案し合ってよい方向に進んでいきたいと思っています。

溝口 あいさつなど、誰にでもできる簡単なことを行動に移し、誰にも負けないくらい長く続ける事が大切だと思います。おやじの会も15年続いていますが、続けるということが大変でした。続けられたのは、誰かのためにしているという意識ではなく「自身自身の成長のために、何かを学ぶ」という気持ちを持つことができたからです。継続的に多くの人が関わり、主体的になることが大切だと思います。

市長 私も中学生には、地域の活動にお客様として来るのではなく、運営などで協力してもらい、自分たちの力が地域の行事を支えているという意識を持ってほしいと思います。そして、地域の一員であるという自覚を持ってもらうことも重要だと思います。

これからの目標

田中 敷居の低い学校、多くの方が訪れる学校が目標です。ことは初年度として、地域の皆さんに学校を見て・知っていただくことを軸に活動しました。持続可能な地域協働学校



溝口 幸治さん
上野台小学校運営協議会
委員、おやじの会代表
葦原中学校区青少年健全育成会会長

を築き、子どもたちが楽しいと思える学校にしたいです。

細木 福岡小学校のスローガン「花とあいさつ」が目標です。あいさつは、地域の皆さんと触れ合うきっかけになります。あいさつをするようになる地域の子どもの顔が分かります。どんな気持ちなのかも伝わると思います。勉強だけでなく、大人からさまざまなことを教えてもらえる学校にできればと思います。

松本 関越自動車道の側道を通って帰る子どもが多く、見通しの悪い部分があるので、見守りを継続していきたくと思います。また、学校運営協議会の中で、保護者やPTAとの連携を強め、少しでも不登校をなくしたいと思っています。

市長 今日、さまざまなお話をいただきました。ありがとうございます。学校訪問の際に「次の社会を作っていく私たちが」という子どもたちの発表をみて感動しました。その気持ちを支えていくのは、地域の力だと思います。現場で携わる皆さんのご意見を参考に、未来を担う子どもたちが、すくすく育っていけるようなま